

(お 知 ら せ)



2026年2月2日
日本原子力発電株式会社

敦賀発電所の近況について

敦賀発電所の近況について、以下のとおりお知らせします。

1. 発電所の状況について（2026年2月2日現在）

1号機 沸騰水型	廃止措置中（2017年4月19日～） ・建屋内廃棄物移送ルート等確保に伴う機器解体工事（2024年10月1日～） ・軽油貯蔵タンク他解体工事（2025年4月21日～2026年1月30日）
2号機 加圧水型 (116万kW)	第18回定期検査中（2011年8月29日～未定） 新規制基準適合性確認の申請に向けた取り組み ・追加調査実施中（2025年9月16日～）【別紙】

() 内は定格電気出力

<新規制基準への適合性審査に係る申請状況>

	申 請	申請日	補正日	許認可日
2号機	保安規定変更認可	2015.11.5	—	—

2. 故障等の状況について（2026年1月8日～2026年2月2日）

(1) 法律に基づく報告事象

なし

(2) 安全協定に基づく異常時報告事象

なし

(3) 保全品質情報等

なし

3. 敦賀発電所3, 4号機 準備工事について（2026年2月2日現在）

現在、原子炉建屋背後斜面の緑化管理等の建設予定地維持管理及びコンクリート製造・供給プラントの設備維持管理等を継続して行っています。

4. その他

(1) 敦賀発電所1号機 原子炉建屋へのろ過水浸入について

2025年11月18日13時35分頃、敦賀発電所1号機の原子炉建屋内（以下、「建屋内」という。）で作業中の協力会社作業員が、1階（管理区域）の床面に水溜まりを確認し、その後の現場調査において、地下2階の床面などにも水溜まりがあることを確認しました。

原因調査の結果、原子炉建屋外から建屋内に敷設されている消防系配管の建屋貫通部の近傍（屋外埋設配管）からろ過水^{※1}が漏えいし、同貫通部を通じて建屋内に

浸入したものと推定しました。

建屋内に浸入したろ過水については、ふき取りを行うとともに、当該配管を隔離したところ、建屋内への浸入が停止しました。

なお、本事象による周辺環境への影響はありません。

※1 河川から取水した水をろ過装置によりろ過し、消火水としている。

(2025年12月1日お知らせ済み)

当該配管が埋設されているコンクリート部を掘削した結果、当該配管下部はコンクリートで覆われておらず土砂に接していることを確認しました。また、配管外表面が腐食しており、1か所に貫通穴を確認しました。

のことから、当該配管に貫通穴が発生した原因是、地中に埋設された当該配管下部が発電所の建設以降、長期にわたり腐食環境下にさらされたことで腐食が進行し、貫通に至ったものと推定しました。

その後、配管内部のろ過水が貫通穴から漏れ出し、さらに配管内の水圧^{※2}が漏えい水を押し出したこと等により、ろ過水が建屋貫通部を通じて建屋内に浸入したものと推定しました。

対策として、当該配管を交換するとともに、配管の敷設ルートを変更します。

※2 配管内の水は消火水として使用するため、約0.7MPaで常時加圧されている。

(2) 敦賀発電所 原子力事業者防災業務計画の修正について

原子力災害対策特別措置法に基づき、関係自治体との協議を踏まえて原子力事業者防災業務計画を修正し、1月16日に内閣総理大臣及び原子力規制委員会に届け出ました。

(1月16日お知らせ済み)

(3) げんでんふれあいギャラリー催し物のご案内について

【開館時間 9:30～16:30】

<個人・グループでの芸術活動、趣味の発表の場としてご利用いただいています>

① 松原公民館切り絵の会 創作切り絵展～つながり～

松原公民館切り絵の会（代表：霜田 悟 様）の5名の皆様による作品展です。風景や花、自然などを題材にしたメンバーの新作作品を25点展示予定です。

(2月3日～2月8日)

② 日本習字寿教室作品展

小学1年生から70代の方まで在籍する日本習字寿教室（代表：矢田 寿代様）の約50名の皆様による作品展です。力一杯に書いた一年の成果の作品を150点展示予定です。

(2月17日～2月22日)

きめこみ

③ 第二回木目込人形 作品展

ほそかわ えみこ

木目込人形 てまり（代表：細川 恵美子 様）の8名の皆様による作品展です。着物や風呂敷などで制作された、干支などの作品を60点展示予定です。

(2月24日～3月1日)

以上

<問合せ先>

日本原子力発電株式会社

敦賀事業本部 立地・地域共生部

[担当：高橋、垣見]

電話：0770-25-5612

敦賀発電所2号機 新規制基準適合性確認の申請に向けた現地調査

現在、現地における追加調査を行っています。掲載している写真は「その他の破碎帯等」の調査を目的とした作業の一つとして、調査坑(立坑)周辺の地盤改良作業を行っているものです。

引き続き、安全確保を最優先に調査を進めてまいります。

項目	調査目的	調査位置・概要		実施状況
1 K断層の分布と性状	K断層の岩盤及び深部での分布や性状を確認し、その特徴を詳細に把握	(1)	K断層が屈曲している箇所における岩盤までの掘削や、D-1トレーニングの地下深部までのボーリング調査を行う。	現地調査中
2 K断層の活動性	K断層の活動年代を特定するための地質データを更に拡充	(2)	<ul style="list-style-type: none"> D-1トレーニングの北西法面のボーリング等による地質の詳細調査を行う。 ふげん道路ピットの上載層から採取したブロックの内部構造をCTで確認する。 	現地調査中
3 K断層の連続性	K断層の連続性の有無を、従来のボーリングデータによる評価に加え、岩盤面において直接確認	(3-1)	ふげん道路ピットを岩盤まで掘削し、K断層が南方に連続していないことを直接確認する。	現地調査中
		(3-2)	ふげん道路ピットから敦賀発電所2号機原子炉建屋側への延長部において、調査坑によるK断層の追跡調査を行う。	(3-1)の調査後に対応
4 その他の破碎帯等	K断層が重要施設の直下まで連続していないことを確認するとともに、敷地全体の破碎帯等の地質データを取得	(4)	原子炉建屋周辺の地質、破碎帯の性状、原子炉建屋直下の破碎帯の活動性、その他の破碎帯の分布、活動性等について、ボーリング調査、調査坑による調査を行う。	現地調査中

<追加調査概要>

地盤改良イメージ図

薬液注入装置
タンク → ポンプ → 薬液を注入する管
立坑
地盤改良範囲
約16m
約30m
約200m
調査坑 約3m
約10m

D-1トレーニング南方での調査

D-1トレーニング
補足: 本回のK断層は標高-15mにて推定される位置を示したもの
浦底断層
【凡例】
← 作業箇所撮影方向
(3-2)K断層の連続性調査(原子炉建屋側への追跡調査)
(4)原子炉建屋周辺の地質、破碎帯の活動性等(調査坑による岩盤中の面的な調査)
立坑
調査坑
約200m
2号機

立坑掘削範囲

薬液注入部拡大

薬液注入作業全景

【その他の破碎帯等】調査坑の掘削(地盤改良作業)

- 立坑の壁面防護・止水を目的に地盤改良を行います(深度約2mから約18mまでの範囲)。
- 立坑掘削予定地の周囲に地盤改良用の薬液を注入している様子です。